



今回の防犯教室には南三陸警察署の署員4名、保護司4名、補導員2名が来校し、防犯訓練や子供たちの様子をみていただきました。以下は、指導・参観なされた方々の感想です。

- 「いかのおすし」や、不審者との間合い等子供たちもよく学んでいたと思います。
- 不審者に対する距離感等の対応ができていた。
- 今後も学校と警察と地域ボランティアと連携し、防犯訓練を続けたい。
- 緊張感をもって取り組んでいた。

以上のような感想の他にも「思っていたより、大変なことがわかった。」、「警察官が現場に来るまでの時間は状況によって変わるため、今回の訓練を参考にしてほしい。」など臨場感あふれる訓練の感想とこれから訓練に向けてのご指導等をいただきました。



## 子供たちの命を 守るために

7月17日(水)午前9時30分より入谷小学校において令和元年度「防犯訓練・防犯教室」が行われました。今回のボランティアのみなさんには南三陸警察署や地域のボランティアの方々に協力をいただきました。前半の訓練では犯人役の警察署員の方が学校に人知れず侵入したことから不審者は建物の死角をついた侵入経路を巧みに見付けてからの職員の対応や職員同士の伝達方法を確認することができました。後半の防犯教室では、生活安全課の只野署員から「いかのおすし」について不審者と思われる人物の対応を教えていただきました。『たすけてー』と子供たちの大きな声が体育館中に響きました。子供たちが地域の皆さんに守られていることを確認できた時間となりました。



「さらし」「デジタルタトゥー」などの用語の説明も…



国井和裕様

7月9日(火)学習参観に引き続いだ、午後2時よりPTA研修会が行われました。今回は「インターネットネットの安心安全な使い方」について総務省東北総合通信局の国井和裕様を講師に研修会を開催いたしました。講話では、子供たちが良く触れているゲーム機やパソコン、スマートホンによるインターネット接続とフィルタリング機能の有効性についてお話をいただきました。現在、未成年者がスマートホンを所持するときはフィルタリング機能が義務化されています。家庭で保護者と子供がフィルタリング機能を一つずつ解除する会話からコミュニケーションを取り合っていくことが大事でした。